

## 早稲田大学 理工学部 化学 講評

### 〔総合分析〕

出題形式	マーク式・記述式併用
試験時間	理科 120 分
特徴・その他	問題文を正しく読み取り、状況を把握し、速やかに解法をひらめかす事が高得点の Point。重要事項をきっちりおさえた、合理的な思考を必要とする問題。

### 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
[ ]	化学全般における 小問(マーク)	全般的に標準的かつ良心的な設問。化学の重要(頻出)問題をきっちりとらえていれば、悩むところはない。(3)(10)で悩んだ受験生もいただろう。	標準
[ ]	(1) 無機化学	題材が普段みなれないプラスチック製品が扱われたが、内容は比較的易しい無機化学の内容であった。	やや易
	(2) 混合気体	気体の問題になれていない受験生には難しかっただろう。やや思考を要する問題。	やや難
[ ]	(1) 電離定数	難しい内容で差がついたであろう設問。平衡定数の取り扱いになれていないと苦しい。	難
	(2) 溶解度積	溶解度積の一般的な問題。	標準
[ ]	有機化学の構造決定、脂肪酸、蒸留装置	構造決定問題になれている受験生には、それほど難しくない。全般的に見れば、少し難しいかもしれない。実験の概要・装置の略図に関してもしっかりと見ておきたい。	やや難

### 〔総合コメント〕

全体的に見れば、やや難といった程度か。問題の解き方になれておかないと合格点を取りづらい、いわゆる差がつく問題。但し、早稲田予備校の化学受講者にとっては、全て一度扱った問題であり、02年度教材の重要事項として講義されており、比較的解き易い問題であったかもしれない。